

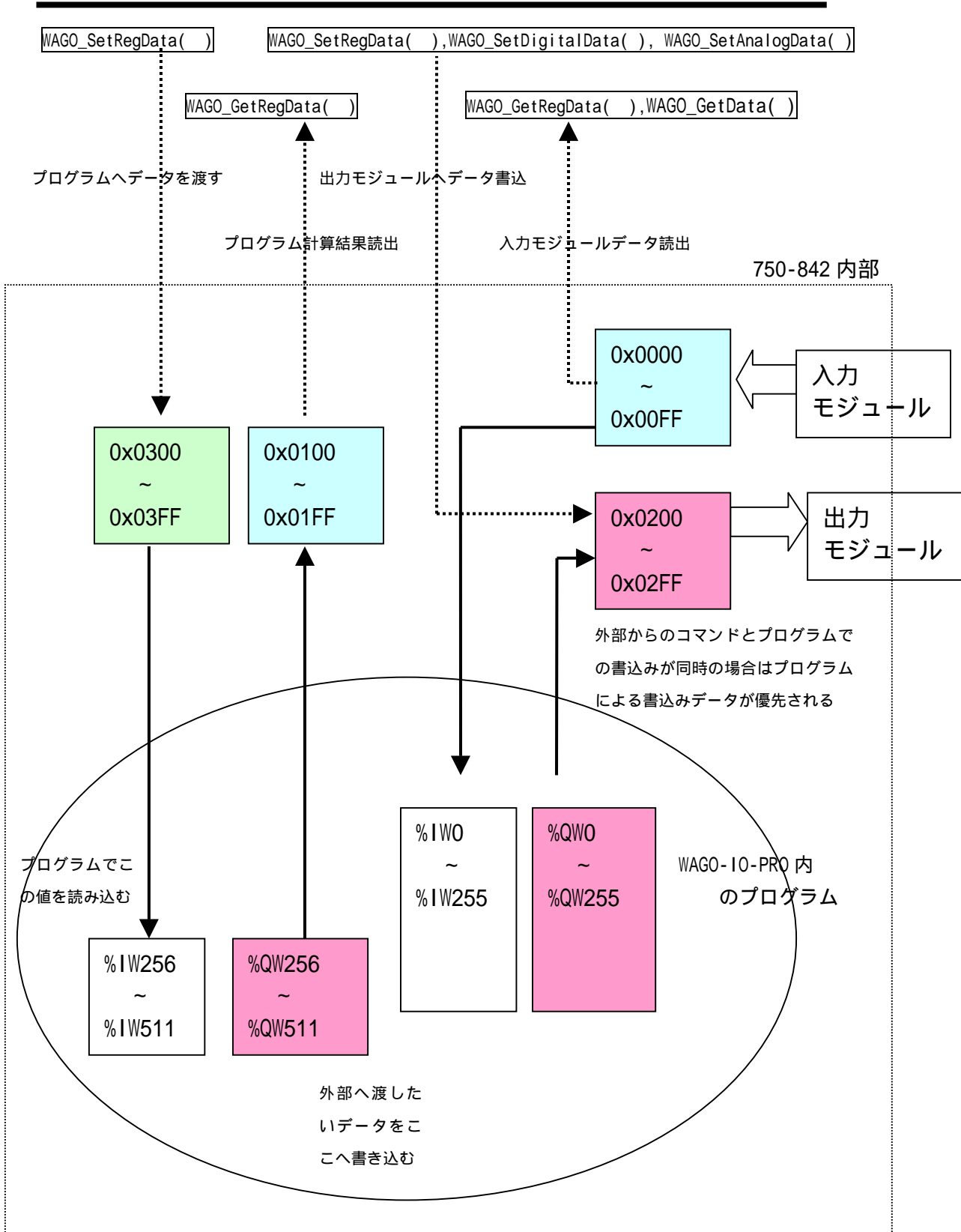
Ethernet コントローラ (750-842) でプログラムを RUN させながら、Ethernet 上からリアルタイムで計算結果を読み出したり、RUN 中のプログラムへデータを渡すには、入出力モジュールが割り当てられていない変数領域を使用します。

Modbus/TCP プロトコルで定義されているアドレスは入出力それぞれ 256 ワード分ですが、750-842 ではそれぞれ 512 ワード分を準備しており、入出力モジュールが割り当てられないそれぞれ 256 ワード分を外部とのデータ入出力バッファとして使用することができます。

また、プログラムが RUN 中であっても、入出力モジュールのデータは Modbus/TCP コマンド、あるいは DLL 経由で読み出し、書き込みが可能です。但し、出力モジュールへの外部コマンドとバスカプラ内のプログラム (WAGO-10-PRO による) が重なる場合はバスカプラ内のプログラムによるデータが優先されます。

< 750-842 のプログラム内部変数と通信アドレスの関係 >

	Ethernet - LAN からのアクセス	アクセスするためのアドレス	WAGO-10-PRO で割り当てられる変数	割り当てられるモジュール、データ
	入力モジュールのデータを読み出し	0x0000 、 0x00FF	%IW0 ~ %IW255	入力モジュールが対象 (WAGO-10-PRO でこの領域には書込不可)
	バスカプラからデータ読み出し (計算結果を読み出し)	0x0100 ~ 0x01FF	%QW255 ~ %QW511	WAGO-10-PRO で計算したデータを書き込む
	出力モジュールへのデータ書き込み	0x0200 ~ 0x02FF	%QW0 ~ %QW255	出力モジュールが対象
	バスカプラヘータを書き込み (内部プログラムヘータを渡す)	0x0300 ~ 0x03FF	%IW256 ~ %IW511	WAGO-10-PRO のプログラムでデータを読み込む



以上